

補足情報

DISPLAY E22-8TA LED

(VL-E22-8TA)

DISPLAY E22-8TB LED

(VL-E22-8TB)

目次

はじめに	3
1 本製品の特長	5
使用方法	6
2 各部の名称と機能	8
3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール	11
初めて電源を入れるとき	11
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	11
4 ディスプレイの設定	12
AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）	12
ECO モード機能	12
ボタンロック機能	13
細かい設定を行う	14
5 省電力機能	22
6 トラブルシューティング	23
画面がおかしい	23
画面が調節できない	24
音が聞こえない／変な音が聞こえる	25
7 日常のお手入れ	26
清掃する	26
8 リサイクル	27
9 付録	28
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	28
2 台のコンピューターを接続する	31
10 仕様	32
本体仕様	32
標準表示仕様	33
コネクタ仕様	34
外形図	35

はじめに

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ マニュアルについて

- ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- 画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-E22-8TA/VL-E22-8TB	本製品

■ 商標および著作権について

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright Fujitsu Limited 2021-2022

1 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

- ・ 21.5 型ワイドの大画面です。
- ・ 1920×1080 ドットの高解像度で精細に表示できます。
- ・ スタイリッシュな狭額縁デザインを採用しています。

2 ブルーライト／チラツキ低減機能

目の疲れを低減する機能です。

第三者認証機関であるテュフラインランドによるローブルーライト機能およびフリッカーフリー設計の認証を取得しています。

POINT

▶ ブルーライトカットモードに関する注意

このディスプレイには「ブルーライトカット機能」があります。ブルーライトカット機能は OSD メニューで選択できます。「ブルーライトカット」機能を使用すると、ディスプレイからのブルーライトの放射量を最小限に抑えられます。

3 節電機能（ECO モード）

ECO モードを「オン」にすることで、電力を約 14%削減できます。

4 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

5 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

- ▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「MODE」(→ P.20) をご覧ください。

6 多彩なインターフェース対応

アナログ信号 (D-Sub 15) およびデジタル信号 (HDMI (HDCP 対応)、DisplayPort (HDCP 対応)) を搭載しています。

7 多彩な設置方法

VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。

インターフェースとしては 75mm×75mm と 100mm×100mm の 2 種類あります。本製品は、100mm×100mm に対応しています。

8 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。



■ ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、50cm 以上離すようにしましょう。

■ 使用時間

1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間を取りましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回とり入れましょう。

■入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が 90 度以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

■机と椅子

高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。

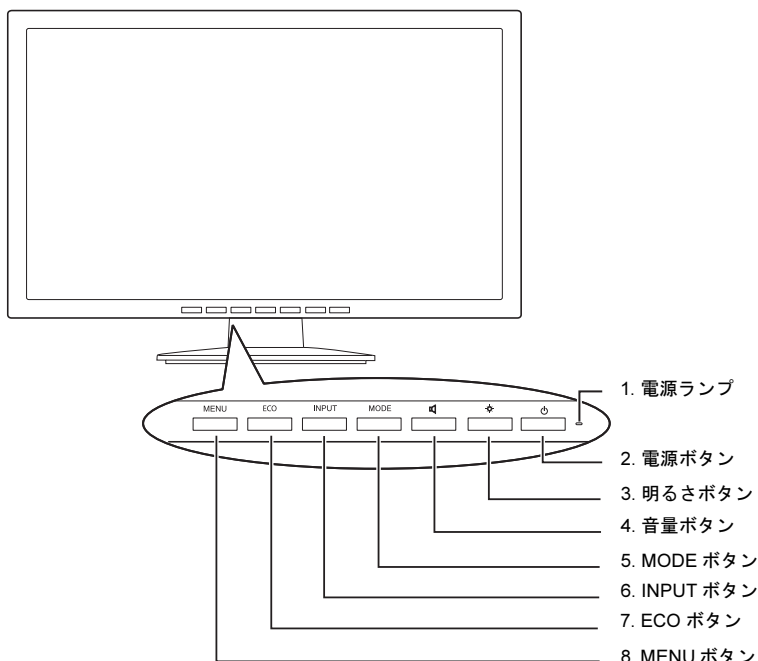
- ・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
- ・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

■作業スペース

机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを利用して腕を支えましょう。

2 各部の名称と機能

■ 前面



1 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能」(→ P.22)

2 電源ボタン (⏻)

本製品の電源オン／オフを切り替えます。

3 明るさボタン (☀️)

メニューが表示されていないときに押すと、明るさ調整の画面が表示されます。

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

4 音量ボタン (🔊)

メニューが表示されていないときに押すと、オーディオ調整の画面が表示されます。

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

5 MODE ボタン

メニューが表示されていないときに押すと、画面モード選択画面が表示されます。

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

6 INPUT ボタン

メニューが表示されていないときに、入力信号を切り替えることができます。

メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。

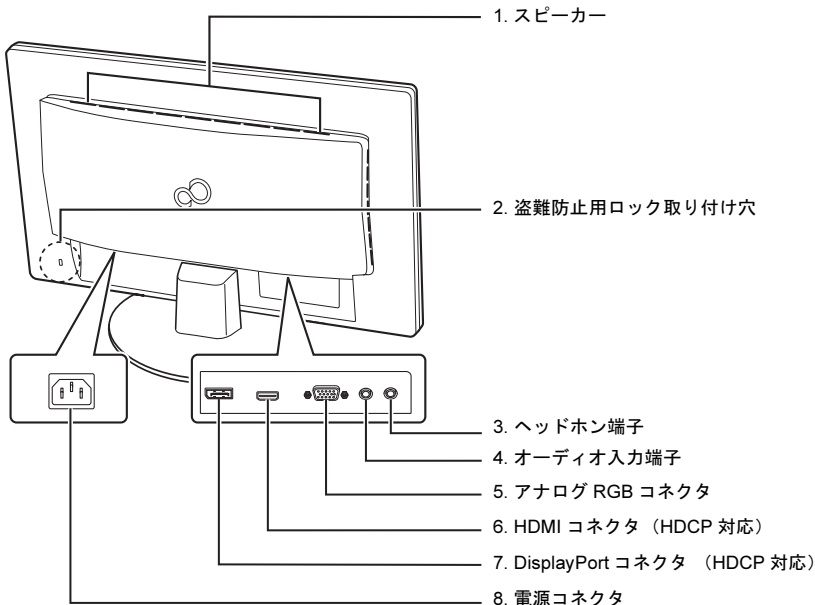
7 ECO ボタン

メニューが表示されていないときに、ECO モードのオン／オフを切り替えることができます。
メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。
「ECO モード機能」(→ P.12)

8 MENU ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

■ 背面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

3 ヘッドホン端子 (🎧)

ヘッドホンを接続して使用します。

4 オーディオ入力端子 (🎧)

コンピューターと添付のオーディオケーブルで接続します。

5 アナログ RGB コネクタ (VGA)

コンピューターとアナログ信号ケーブルで接続します。

6 HDMI コネクタ (HDCP 対応) (HDMI)

コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

POINT

- ▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。
HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

7 DisplayPort コネクタ（HDCP 対応）（DP）

コンピューターと添付の DisplayPort ケーブルで接続します。

POINT

- ▶ DisplayPort とは、液晶ディスプレイなどのデジタル・ディスプレイ装置のために設計された映像出力インターフェースの規格です。
DVI の後継をねらった規格であり、音声信号や汎用データの転送も可能ですが、音声信号伝送はオプションのため、機器によって対応／非対応が異なります。

8 電源コネクタ（POWER）

添付の電源ケーブルを接続します。

注意

- ・ 本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

3 ディスプレイドライバー (INF ファイル) のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューターに接続後、最初に電源を入れたときに、本製品のドライバー (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニター」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニター」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (https://www.fmwORLD.net/biz/fmv/index_down.html) よりダウンロードできます。

「ディスプレイ INF ファイル／その他のドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

本製品の型名は「VL-E22-8TA/VL-E22-8TB」です。「デバイスマネージャー」で、本製品の型名は「VL-E22-8TA」と表示されていますが、故障ではありません。

4 ディスプレイの設定

AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めてディスプレイをコンピューターに接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.33）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューターで画面の背景を白色に設定してから行ってください。
- ▶ HDMI ケーブルおよび DisplayPort 信号ケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

ECO モード機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する「ECO モード」機能を搭載しています。

ECO モード

ECO モードを切り替えるときは、ECO ボタンを押してください。オン／オフが切り替わります。



モード名	機能
ECO モードオン (電源ランプ：緑)	・ご購入時 明るさ調整値は 70 に設定されています。 ・明るさ調整後 最後に設定された 70 以下の明るさ調整値になります。 ・消費電力は、約 14%以下低減（最大電力比^注）できます。
ECO モードオフ (電源ランプ：青)	・ご購入時 画面の明るさレベルは最大約 250cd/m² に設定されています。 ・明るさ調整後 最後に設定された 70 を超える明るさ調整値になります。

注：通常使用時（スピーカーオフ）における最大電力（ECO モード「オフ」、輝度最大）比

重要

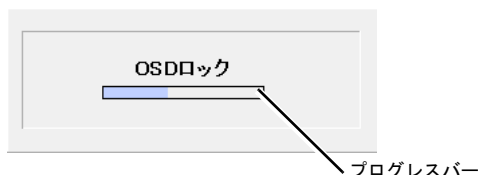
- ▶ sRGB モードでご使用時は、ECO モードの設定はできません。

ボタンロック機能

本製品には、ボタンをロックする機能が搭載されています。ボタンをロックすることで、無断で設定を変更することができず、誤操作防止が可能となります（ECO ボタンはロックできません）。

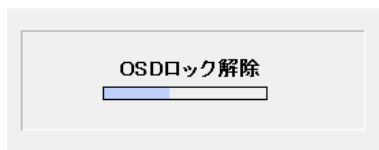
■ OSD メニューをロックする

本製品の電源がオンの状態で MENU ボタンと電源ボタンを同時に押すと、OSD ロック画面を表示します。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、OSD メニューを表示するボタンをロックします（ECO ボタンはロックできません）。



POINT

- ▶ プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、ボタンのロック操作をキャンセルします。
- ▶ OSD メニューのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、電源ボタン以外のロックを解除します。また、プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、ボタンのロック解除操作をキャンセルします。



■ 電源ボタンをロックする

本製品の電源がオンの状態で、ECO ボタンと INPUT ボタンを同時に押すと、電源ボタンをロックします。

POINT

- ▶ 電源ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

■メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

MENU ボタン

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定

ECO ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ ECO モード切り替え

INPUT ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 入力切替画面表示

MODE ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ モード切替／調整画面表示

音量ボタン

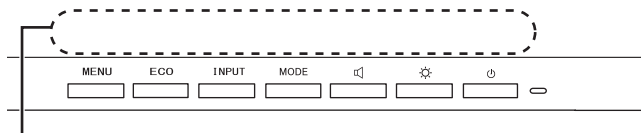
- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 音量の設定画面表示

明るさボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 明るさの設定画面表示

□ 操作方法

設定を変更するときにそれぞれのボタンを押すと、各ボタンが下表のように動作します。操作途中に解像度を変更した場合、操作途中の設定が保存され、その設定内容で画面が表示されます。



操作時、各ボタンにどのような機能が割り振られているかは、この部分に表示されます。

ボタンのすぐ上に表示される操作アイコンを確認のうえ、ボタンを押して設定を変更してください。
それぞれの操作アイコンの機能は、次のようになります。

操作アイコン	機能
↑／↓	メニュー（サブメニュー）の設定項目を選択する
→	・ 選択したサブメニューを表示する ・ 次の設定に進む ・ 機能を実行する
←	前の設定に戻る
+／－	調整値を変更する
	各調整値を確定する
	・ 直前のメニュー画面に戻る ・ メニュー画面を終了する
	メニューを終了する

■ 設定項目の内容

ボタンには複数の機能があります。

ボタン	機能
MENU	画像調整（→ P.16）／ OSD（→ P.18）／ 詳細設定（→ P.18）／ 情報（→ P.19）
ECO（→ P.12）	ECO モードのオン／オフを設定します。
INPUT（→ P.19）	入力信号を選択します。
MODE（→ P.20）	画像モードや色に関する設定をします。
音量（  ）（→ P.20）	音量を調整します。
明るさ（  ）（→ P.21）	画面の明るさやコントラストを調整します。
電源（  ）	電源のオン／オフを切り替えます。

■ 画像調整（入力コネクタを「VGA」に選択した場合）



□ 調整項目の内容

名称	機能
フェーズ	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
水平位置	表示画面の水平位置を左右に調整します。
垂直位置	表示画面の垂直位置を上下に調整します。
自動調整	自動で最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズを調整します。
鮮明さ	画面の鮮明さを調整します。
拡張	1920×1080 ドット以下の解像度を拡大するときの方法を設定します。
フルスクリーン	入力信号の画面の縦横比に関係なく最大画面サイズに拡大します。
アスペクト比を固定	入力信号の画面の縦横比を保ったまま拡大します（画面上に黒帯が出る場合があります）。

■ 画像調整（入力コネクタを「HDMI」または「DisplayPort」に選択した場合）

□ コンピューターのディスプレイ設定で出力フォーマットが「RGB」の場合



□ コンピューターのディスプレイ設定で出力フォーマットが「YCbCr」の場合

POINT

- ▶ 「YCbCr」に設定した場合、「RGB」に比べ画質が見劣りすることがあります。
 - ▶ 「YCbCr」に設定できるかどうかは、接続しているコンピューターのグラフィックスやビデオカードにより異なります。
- 次の操作で「YCbCr」の設定が確認できます。
- ・ デスクトップで右クリックし、「グラフィックス・プロパティ」を選択し、ディスプレイの「色設定」で設定します。
 - ・ デスクトップで右クリックし、「ビデオカードコントロールパネル」を選択し、「出力のカラーフォーマット」で設定します。
 - ・ 「スタート」メニューから「グラフィックスコントロールパネル」を選択し、ディスプレイの「色設定」で設定します。



□ 調整項目の内容

 重要

▶「彩度」、「色相」は YCbCr 入力の場合しか表示されません。

名称	機能
鮮明さ	画面の鮮明さを調整します。
彩度	色の濃さを調整します。
色相	色合いを調整します。
拡張	1920×1080 ドット以下の解像度を拡大するときの方法を設定します。
フルスクリーン	入力信号の画面の縦横比に関係なく最大画面サイズに拡大します。
アスペクト比を固定	入力信号の画面の縦横比を保ったまま拡大します (画面上に黒帯が出る場合があります)。

■ **OSD**



□ 調整項目の内容

名称	機能
言語	OSD メニューやメッセージの設定言語を設定します。
タイムアウト	OSD メニューの表示時間を調整します。

■ **詳細設定**



□ 調整項目の内容

名称	機能
オーバードライブ	拡張応答時間を有効／無効に設定します（動画モード、カスタムモードでしか設定できません）。 この機能を使用すると、高速に動く画像のフォーカスを改善できます。
DDC/CI	未対応
工場出荷時の値に戻す	すべての項目をご購入時の設定に戻します。

■ 情報

□ 表示内容

名称	機能
Model	「モデル名」を表示します。
S/N	「シリアル番号」を表示します。
Input	現在入力されている「入力コネクタ」を表示します。
Res	現在入力されている「解像度」を表示します
H-Freq/V-Freq	現在入力されている「水平周波数」／「垂直周波数」を表示します。
Mode/Color	「画面モード」／「色温度」を表示します。
ECO	「ECO モード」のオン／オフを表示します。
ACR	「動的コントラスト」の有効／無効を表示します。
OD	「オーバードライブ」のオン／オフを表示します。

■ INPUT

 入力

 **VGA**

HDMI

DisplayPort



□ 調整項目の内容

名称	機能
VGA	入力コネクタを「VGA」に切り替えます。
HDMI	入力コネクタを「HDMI」に切り替えます。
DisplayPort	入力コネクタを「DisplayPort」に切り替えます。

MODE



調整項目の内容

名称	機能
sRGB	色温度を sRGB に設定します。
ブルーライトカット	ブルーライトの放射量を最小限に抑えた目に優しい画面モードに設定します。
オフィス	文書を作成するのに適した画面モードに設定します。
写真	写真を表示するのに適した画面モードに設定します。
動画	動画を表示するのに適した画面モードに設定します。
カスタム	色温度を設定します。色温度は、K (Kelvin) で表示されます。
5000 K	色温度を 5000K に設定します。
6500 K	色温度を 6500K に設定します。
7500 K	色温度を 7500K に設定します。
ネイティブ	色温度をパネル固有の値に設定します。
RGB 調整	赤、緑、青の色割合をそれぞれ設定します。

オーディオ



□ 調整項目の内容

名称	機能
音量	スピーカーの音量を調整します。
ミュート	ミュートのオン／オフを選択できます。
入力	入力オーディオ（デジタル／アナログ）を切り替えます。

 POINT

▶ 省電力状態になると、スピーカーからの音声出力が停止します。

■ 明るさ / コントラスト

 明るさ/コントラスト

明るさ

70

コントラスト

50

ブラックレベル

ACR オフ

↑

↓

—

+

×

□ 調整項目の内容

名称	機能
明るさ	画面全体の明るさを調整します。
コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ブラックレベル	黒色のレベルを任意に設定します。sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ACR	動的コントラストを有効／無効に設定します。動画モード、カスタムモードでしか設定できません。
オートレベル	自動で、コントラストを調整します。VGA 入力でしか調整できません。

5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。

省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューターの制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「スリープモードに入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューター の状態	本製品の動作					本製品の 消費電力
	画面表示	本製品の 電源供給元	電源 ボタン	電源 ランプ	ECO モード	
通常状態	表示あり	コンセント	オン	青	オフ	最大時：18W 注1
				緑	オン	ECO モード「オン」 時：12W 注2
映像出力オフ注3	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.2W
スリープまたは 休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.2W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.1W 注4

注1：ECO モード「オフ」、スピーカー ON、輝度最大時の状況です。

注2：ご購入時の状態での消費電力です。ECO モード「オン」、スピーカー OFF の状態です。

注3：コンピューターの省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープまたは休止状態に移行する前の状態です。

注4：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより0にすることができます。

6 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より、明るさを調整してください。	「明るさ / コンストラスト」 (→ P.21)
画面が暗くなった	ECOモードが「ECOモードオン」になっている。	ECO ボタンを押して、「ECO モードオフ」に設定してください。	「ECO モード機能」 (→ P.12)
	液晶パネル内部の LED バックライトが、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	『取扱説明書』
画面いっぱいに表示されない	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「画像調整 (入力コネクタを「VGA」に選択した場合)」 (→ P.16)
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューターの設定が推奨解像度以外の解像度 (モード) になっている。	コンピューターの設定を推奨解像度 (モード) に設定してください。	「標準表示仕様」 (→ P.33) コンピューターのマニュアル
格子状の模様が見えないことがある (アナログ接続時のみ)	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「画像調整 (入力コネクタを「VGA」に選択した場合)」 (→ P.16)
帯状のしま模様 (縦) が見えることがある (アナログ接続時のみ)	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてから、フォーカスの調整をしてください。	「画像調整 (入力コネクタを「VGA」に選択した場合)」 (→ P.16)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面がはみ出る（アナログ接続時のみ）	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「画像調整（入力コネクタを「VGA」に選択した場合）」（→ P.16）
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.33） コンピューターのマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.33） コンピューターのマニュアル
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1920x1080よりも低い解像度（モード）になっている。 デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合がある。	コンピューターの解像度を1920×1080に設定してください。	コンピューターのマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない（アナログ接続時）。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整を行ってください。	「画像調整（入力コネクタを「VGA」に選択した場合）」（→ P.16）
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピューターからの信号が連続的に切り替わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
表示画面にむらがある（もやもやしている）	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.8）

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「画像調整（入力コネクタを「VGA」に選択した場合）」（→ P.16） 「標準表示仕様」（→ P.33） コンピューターのマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「オーディオ」(→ P.20)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面より、音量を調整してください。	「オーディオ」(→ P.20)
	コンピューターの音量設定が最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューターのマニュアル
	コンピューターの音量設定がミュートになっている(画面右下の通知領域に  と表示されている)。	キーボードの Mute (消音) ボタンを押すか、画面右下の通知領域の  をクリックして音量つまみを表示し、  をクリックして  にしてください。	コンピューターのマニュアル
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力をやめる仕様となっております。	「省電力機能」(→ P.22)
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューターの適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	『取扱説明書』-「コンピューターと接続する」 「2 台のコンピューターを接続する」(→ P.31)
スピーカーから音が聞こえない	コンピューターとディスプレイのサウンド設定が異なっている。	コンピューターのサウンド再生機器の設定とディスプレイのサウンド入力の設定を確認してください。	コンピューターのマニュアル
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時に「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

7 日常のお手入れ

清掃する

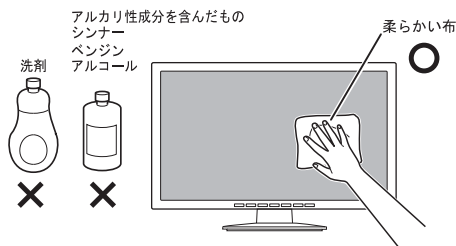
お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューターから抜いてください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含んだものなど
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
 - ・柔らかい布をご使用ください。
 - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



8 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、富士通のホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>) をご覧ください。

9 付録

アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。

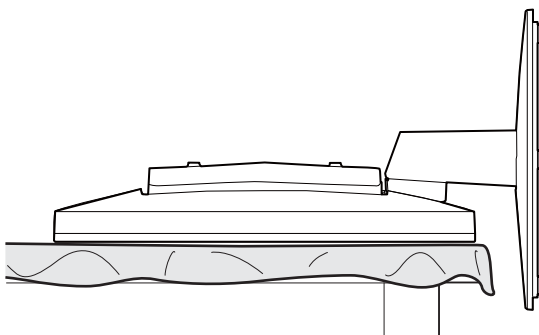
ドライバーをご用意ください。

重要

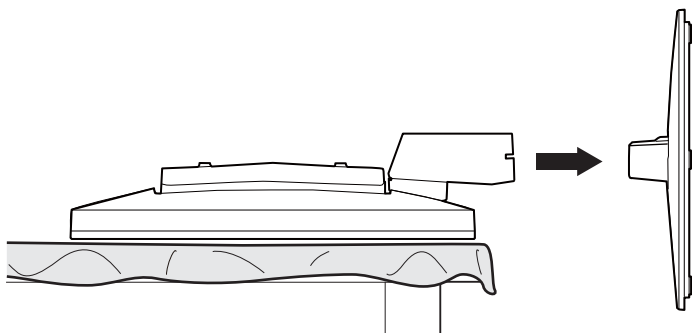
- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm×100mm である
 - ・ M4×10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 8kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの（M4×10mm）を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

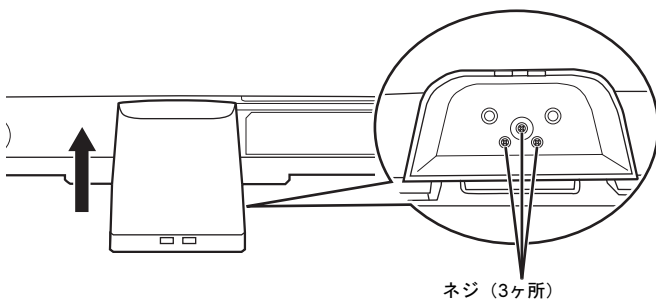


3 ベーススタンドを取り外します。



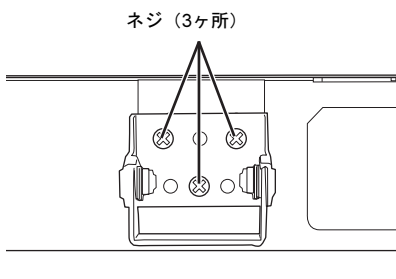
4 スタンドカバーを取り外します。

スタンドの内側にあるネジ（3ヶ所）を外して、スタンドカバーを外します。



5 スタンド金具を取り外します。

プラスドライバーでネジ（3ヶ所）を外し、スタンド金具を取り外します。

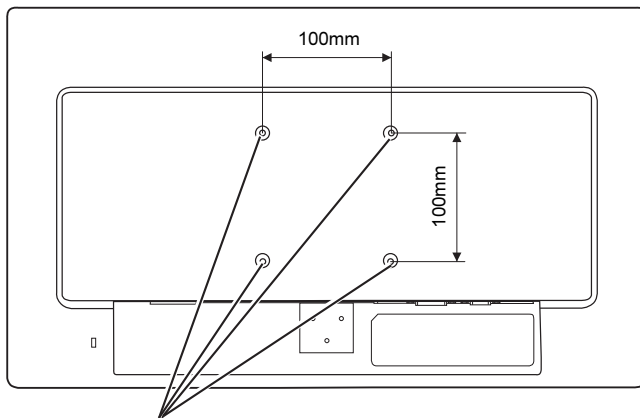


POINT

▶ 取り外したスタンドとネジは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

6 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

7 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

POINT

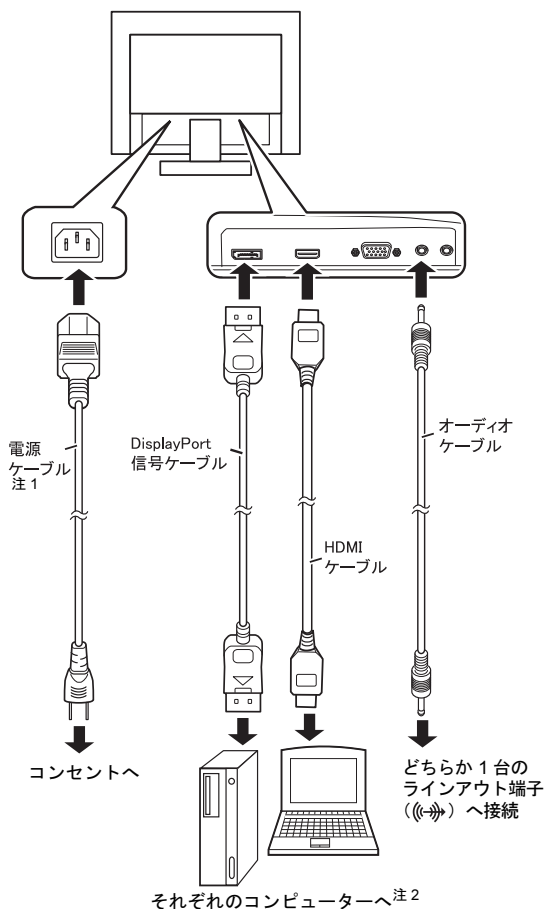
- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを外してベーススタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.28）の逆の手順でベーススタンドを取り付けてください。

2 台のコンピューターを接続する

2 台のコンピューターを接続するときは、次のように接続してください。



注 1 : 本製品には、添付されている電源ケーブルを使用してください。また、電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

注 2 : 接続するコンピューターが 1 台につき、HDMI ケーブル、DisplayPort 信号ケーブルのいずれか 1 つのみお使いください。

10 仕様

本体仕様

項目		仕様
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン) 注 1	映像信号：アナログ (セパレート同期信号 /TTL) 0.7Vp-p (正極性)、75Ω インピーダンス
	HDMI コネクタ (HDMI) 注 1	映像信号：デジタル、HDMI1.4、(TMDS/HDCP1.4 対応)
	DisplayPort コネクタ	映像信号：デジタル (DisplayPort1.2/HDCP1.4/DPCP1.1 対応)
	オーディオ入力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)	音声信号：アナログ
	オーディオ出力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)	音声信号：アナログ
表示部	画面サイズ	21.5 型 (対角 54.6cm)
	表示寸法	476.064mm (H) ×267.786mm (V)
	液晶パネル	TFT カラー液晶
	解像度	1920×1080 ドット
	画素ピッチ	0.248mm×0.248mm
	表示色	1677 万色
	輝度	250cd/m ² (Typ.)
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	5ms
機能	視野角	上下 178°、左右 178°
	表示モード	640×480、720×400、800×600、1024×768、1280×1024、1440×900、1600×900、1680×1050、1920×1080
	チルト	下 3.5° ～ 上 22°
	壁掛け	100mm×100mm (VESA 規格対応)
電源	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)
	最大消費電力	18W (オーディオ動作時)
	ECO モード「オン」時消費電力	12W
	最小消費電力 (省電力動作時注 2)	0.2W
	電源ボタン「オフ」時注 3	0.1W
音声部	最大出力	2.0W/ch
	スピーカー	ステレオ
	再生周波数帯域 (ユニット)	250Hz ～ 20kHz
外形寸法		500.5mm (W) ×343.45mm (H) ×212mm (D)
質量		約 3.2kg (本体) 約 2.9kg (表示部)
使用環境	温度	5 ～ 35 °C
	湿度	10 ～ 90% (RH) (結露しないこと)

注 1：本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC 2B (Display Data Channel Standards Vers. 1.0 Rev.3 準拠) に対応しています。

注 2：コンピューターで設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 3：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0 にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

No	解像度 （モード）	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）	極性 （H/V）	表示可能解像度（モード）	
					アナログ	デジタル
1	720×400	31.472kHz	70.1Hz	（－ / ＋）	○	○
2	640×480	31.469kHz	59.94Hz	（－ / －）	○	○
3	640×480	37.5kHz	75Hz	（－ / －）	○	○
4	800×600	37.879kHz	60.3Hz	（＋ / ＋）	○	○
5	800×600	46.875kHz	75Hz	（＋ / ＋）	○	○
6	1024×768	48.363kHz	60Hz	（－ / －）	○	○
7	1024×768	60.023kHz	75Hz	（＋ / ＋）	○	○
8	1280×720	45kHz	60Hz	（＋ / ＋）	○	○
9	1280×1024	63.981kHz	60Hz	（＋ / ＋）	○	○
10	1280×1024	79.976kHz	75Hz	（＋ / ＋）	○	○
11	1440×900	55.935kHz	59.887Hz	（－ / ＋）	○	○
12	1600×900	60kHz	60Hz	（＋ / ＋）	○	○
13	1680×1050	65.29kHz	59.954Hz	（－ / ＋）	○	○
14	1920×1080	67.5kHz	60Hz	（＋ / ＋）	◎	◎

重要

- ▶ 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面から手動で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1920×1080 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

コネクタ仕様

■ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	R（映像）	9	DDC +5V	
2	G（映像）	10	GND	
3	B（映像）	11	NC 注	
4	NC 注	12	DDC DATA	
5	GND	13	水平同期	
6	GND	14	垂直同期	
7	GND	15	DDC CLOCK	
8	GND			

注：NC：未接続

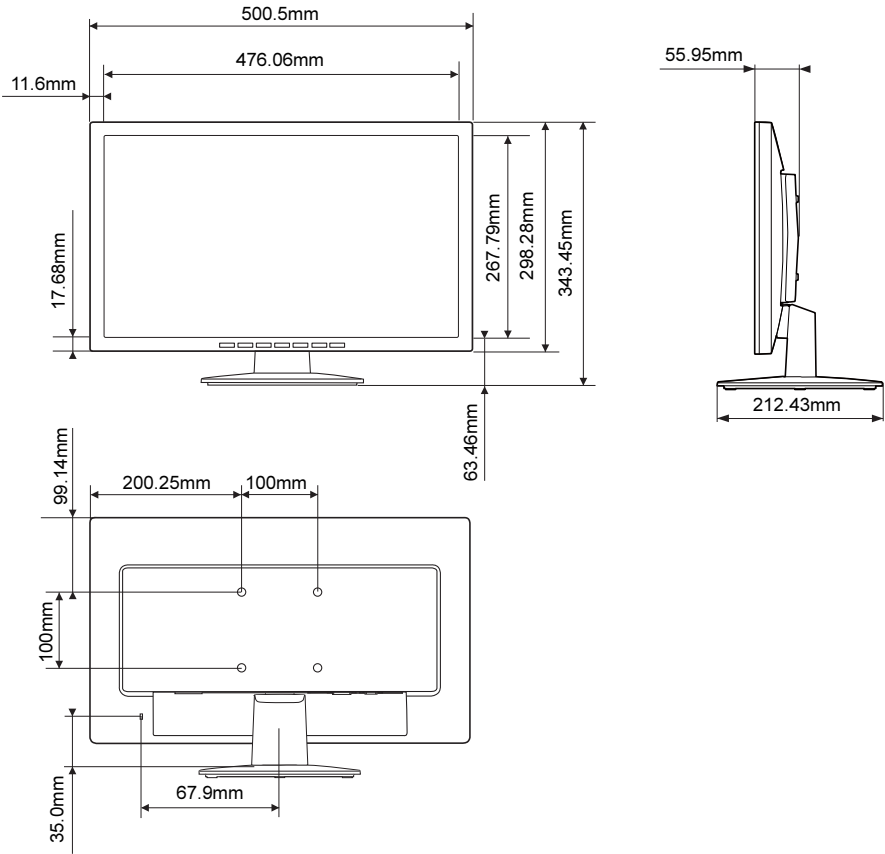
■ デジタル（DisplayPort コネクタ）

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	Main Link lane3(n)	11	GND	
2	GND	12	Main Link lane0(p)	
3	Main Link lane3(p)	13	Config1	
4	Main Link lane2(n)	14	Config2	
5	GND	15	AUX channel(p)	
6	Main Link lane2(p)	16	GND	
7	Main Link lane1(n)	17	AUX channel(n)	
8	GND	18	Hot Plug Detect	
9	Main Link lane1(p)	19	Return	
10	Main Link lane0(n)	20	DP Power	

■ HDMI コネクタ

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	TX2+	11	Shield（TXC）	
2	Shield（TX2）	12	TXC-	
3	TX2-	13	CEC	
4	TX1+	14	Reserve	
5	Shield（TX1）	15	SCL	
6	TX1-	16	SDA	
7	TX0+	17	GND（DDC/CEC）	
8	Shield（TX0）	18	+5V Power	
9	TX0-	19	Hot Plug Detect	
10	TXC+			

外形図



DISPLAY E22-8TA LED (VL-E22-8TA) DISPLAY E22-8TB LED (VL-E22-8TB)
補足情報

B6FY-5401-02 Z0-00

発行日 2022 年 6 月
発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。